

# Weekly コラム

令和3年1月5日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## 人工知能 (AI) と投資

AI(人工知能)は今では多くの家電やサービスに利用されていますが、金融商品についても AI やビッグデータの活用が進んでおり、金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた「フィンテック」という言葉が当たり前になってきています。

実際に数年前から投資信託などで「AI 投信」というワードが賑わっていますが、2つの意味があります。一つは、「AI 関連銘柄に投資するテーマ型ファンド」を指すもの。テーマ型ファンドは、話題のキーワードに関する銘柄を集めて設定される投資信託です。5G 関連銘柄、医療関連銘柄、バイオ関連銘柄など、その時に世間が多く関心を寄せている領域に対して投資するファンドがその都度設立されています。しかし話題のテーマが商品になった時点で強材料を消化しているのか、テーマ型ファンドの運用成績は思いのほか苦戦してしまいがちです。

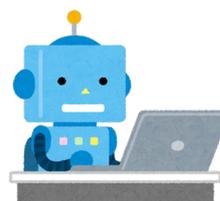
もう一つは「AI(人工知能)技術を利用した投資信託」を指すものです。最近話題にのぼる「AI 投信」は、人間では到底処理できない莫大な量のデータを分析し、最適な投資方法や銘柄を割り出すプログラムを利用した投資信託のことです。「AI」と聞くと、目新しい画期的な商品のように聞こえますが、コンピューターに分析させることを売りにした投資信託は昔からありました。「AI 投信」と名付けたら人気商品になった、というのが正直なところではあります。

AI が投資判断をしてくれると聞くと、下げ相場になったら早めに売って利益確定してくれる、上げ相場になったらすぐを買ってくれる

ようなイメージがありますが、あくまでも人間が設定したプログラムです。そして最終的にどの銘柄を買うかなどの判断はファンドマネージャーが行っていることが多いのです。AI が自我を持って投資判断しているわけではないのです。

販売する側は、さまざまな宣伝文句で投資家を魅了してきます。「AIによる最新投資技術」とか「AIにより迷いがなくなる」「絶好のタイミングを逃さない」などと。しかし完璧なプログラムなど存在しません。また、過去のデータを基に投資判断するAIが、過去にない性質の相場環境の大きな変化に上手く対応できないといわれています。

今のところAIは全知全能ではありません。AIが投資に役立つことは間違いありませんが、最後は私たち人間、その人個人の判断が重要です。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、[skc-soudan@skc.ne.jp](mailto:skc-soudan@skc.ne.jp) まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。